

荒浜小学校

資料提供 震災遺構仙台市立荒浜小学校管理事務所
仙台市防災環境都市推進室

震災遺構 仙台市立荒浜小学校／荒浜地区住宅基礎

基本情報

所在地：宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端32-1

運営：仙台市まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室

荒浜地区：仙台市中心部から東に約10km離れた太平洋沿岸部

荒浜小学校：海岸から約700mに位置し、震災当時は91名の児童が通っていた



震災前の荒浜地区

位置付け

津波の脅威や教訓を後世に伝えるため、津波で被災した仙台市立荒浜小学校の校舎と荒浜地区の住宅基礎群を震災遺構として保存



荒浜小学校周辺の浸水状況

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

当時、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた仙台市立荒浜小学校。平成29年4月30日に公開

校舎外周/1階/2階：校舎の被害状況や被災直後の写真を展示

4階：地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を振り返る写真や映像、災害への備え、荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出などを展示



校舎外観



1階



4階展示室「3.11荒浜の記憶」

震災遺構 仙台市立荒浜小学校／荒浜地区住宅基礎

映像「3.11 荒浜小学校の27時間」

4階展示室では「3.11荒浜の記憶」を上映。14時46分の地震発生から、避難者救出の27時間を、インタビューや消防ヘリの映像などを交えた約17分間の映像



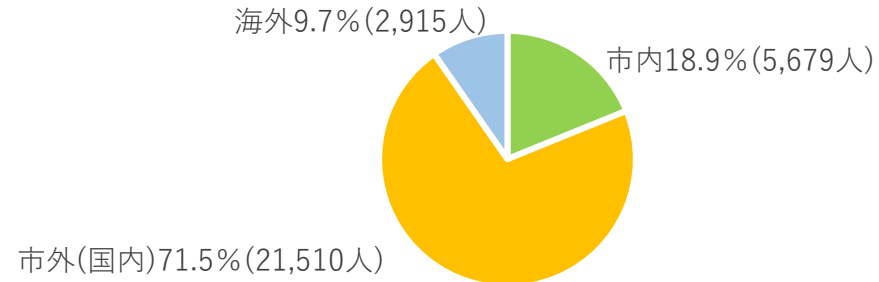
インタビューと消防ヘリによる映像

来館者の状況

累計 約274,000人（月平均約6,100人）が来館
※令和3年2月末現在

来館者の居住地

※令和元年度に案内の申込みがあった方のみを集計



震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎

津波により被災し残された住宅基礎と浸食された地形の一部を保存。令和元年8月2日に公開

敷地内には住宅基礎の実物を見ながら津波被害の大きさを実感させるため、津波の脅威の解説や失われたかつての荒浜の暮らしの様子などの写真や証言を掲載した説明看板を展示



説明看板



遺構と見学用通路